



## 市町村探訪

 景観条例策定準備に向けた取り組みと  
 今後のまちづくり(守谷市)

**景観条例策定準備に向けた取り組みについて**

都市景観条例策定の取り組みについては、自然環境の保全や市の住環境の維持・向上、新たな都市開発など、市固有の都市づくり、まちづくりの課題に総合的に答えつつ、「守谷らしさ」を基調に、誰もが、共感できる景観的に魅力を持った市の実現に資するために、都市景観条例の策定が急務となっております。

景観まちづくりは、空間づくり(物的整備等)と、人づくり(市民生活への浸透)とを密接に絡み合わせて進めることが重要であり、つくばエクスプレスの開通に合わせて、できるだけ早く都市の形を整えなければならないが、変化に対応した都市景観づくりを計画的に行なうには、効率的な都市景観に配慮した秩序あるまちづくりを進める必要もあるため、平成17年度から条例策定の作業に着手しております。

守谷にマッチした市民参加型の手作り条例にするため、条例策定作業の着手に当たっては、積極的に取り組む意欲のある方(適任者)、若い方を広く市民の中から公募(景観条例策定準備委員11名)いたしました。17年2月より、毎月第3土曜日 19:00から守谷市景観条例策定準備委員会を開催しています。費用等(旅費含む)につきましては無報酬で御協力いただいております。

平成17年度中に条例素案の作成を行い、18年度は必要に応じ随時開催するとともに、19年3月景観条例を策定すべく作業を行っております。

**今後のまちづくりについて**

守谷市のまちづくりにおいては、誰もが、もりやを「終のすみか」と望み「住みたい・住みつづきたい・住んでよかった」と心から思えるまち。そして、もりやに誇りを持ち、誰もがまちづくりの主人公になれるまちを、市民と共に創り育てる。これを、まちづくりの基本理念に掲げています。

駅周辺のまちづくりにおいても、守谷駅周辺地区は、つくばエクスプレスと関東鉄道とのクロス地点となり、その交通アクセス、立地、将来の発展性等からみても、守谷市が大きく飛躍するための拠点として極めて重要な位置にあり、守谷市の顔づくりを進める上で今後の守谷を展望した総合的視点に立ったまちづくりが求められているところです。

このことから、守谷駅周辺については、やすらぎとにぎわいを演出する市街地景観の形成、人々が集い交流する環境空間、ターミナル交通を処理する交通空間として、もりやの顔となる地区を形成し、市内外地域に対する拠点性、中心性を高めることを目標に整備を進めています。

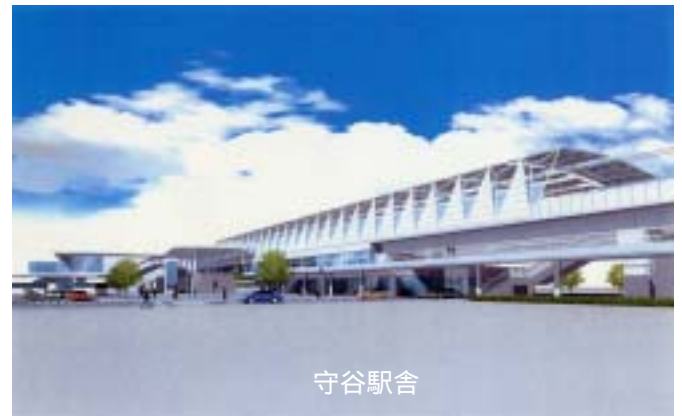
具体的には、東西の駅前広場において、単なる交通広場的な機能だけでなく、環境空間を十分に確保し、シンボルツリーやまとまった緑を配置し、木々に囲まれた美しい緑の杜ともいえる空間の創出を目指しています。

それを取り囲む街区は、商業・文化・交流などの賑わいの機能を備えながらも、街路樹の緑やファサードの美しい建物、形態や意匠などで統一感を出すなど、やすらぎが感じられる街並みの創出を目指しています。

また、歩道や駅前広場と一体となった歩行者溜まりやオープンスペースを確保し、ゆとりある歩行者空間の創出と、市民や来訪者が快適にまち歩きを楽しめるような環境空間の整備について調整を図っているところでもあります。



上空から撮った守谷市全景



守谷駅舎



守谷駅東西の駅前広場

~今回は、守谷市都市計画課から  
ご寄稿いただきました。~

問い合わせ先

守谷市役所 都市計画課

TEL 0297-45-1111 FAX 0297-45-2804